

エコアクション21全国大会



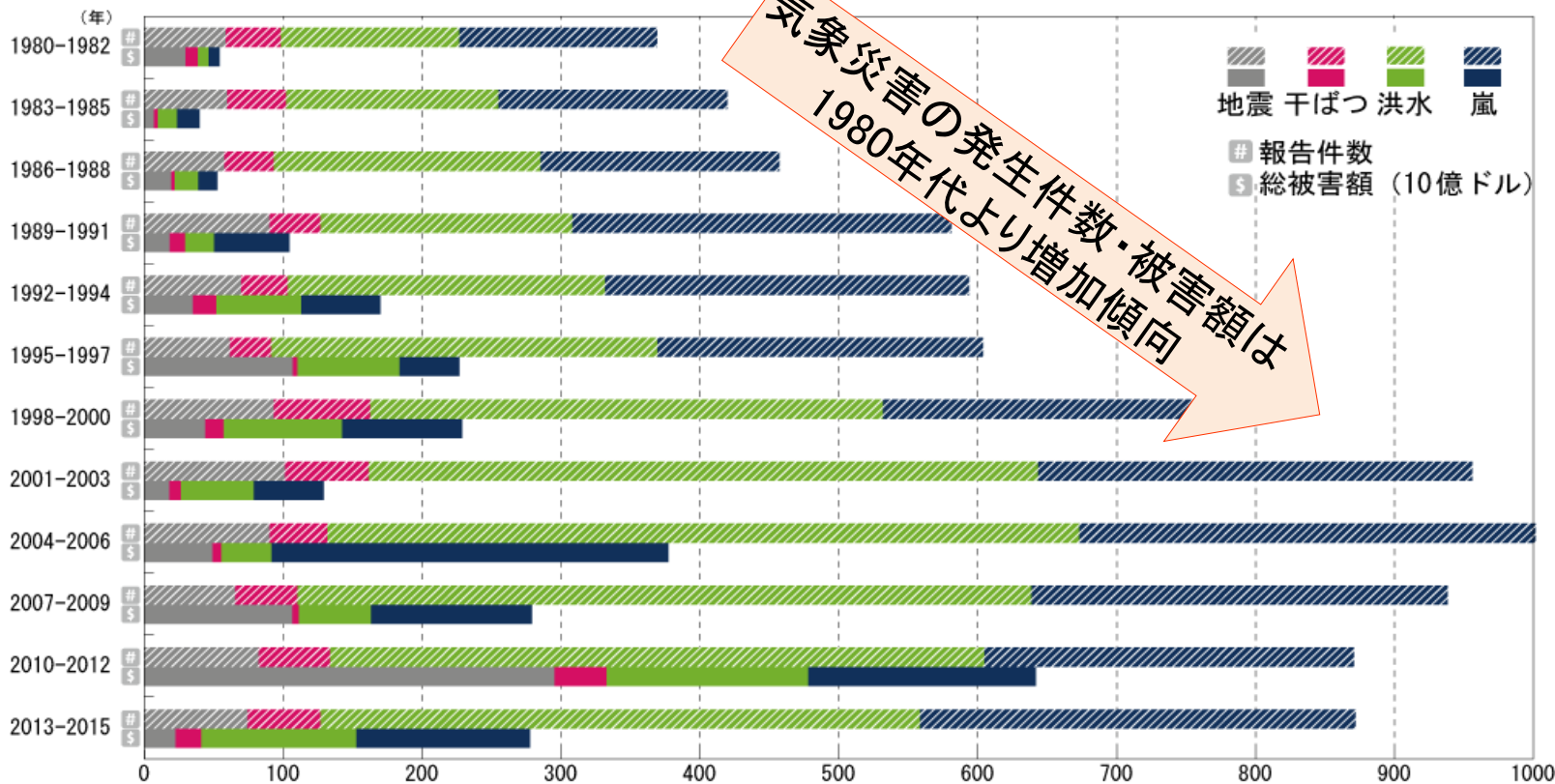
環境政策の動向とエコアクション21

環境省 大臣官房環境経済課
課長補佐 菅生直美

気候変動のリスクと脅威

- IPCCによれば、21世紀末までに世界の平均気温は2.6°C~4.8°C上昇すると予測
- 気象災害が激化する中、世界経済も気候変動を最大のグローバルリスクの一つと認識
- パリ協定の2°C目標達成のためには、温室効果ガスの累積排出量を一定以下に抑えることが必要

■ 気象災害の激化



持続可能な開発目標 (SDGs)

- 2015年9月、国連総会で持続可能な開発目標(SDGs)を中核とする「2030アジェンダ」採択
- SDGsは、リオ+20(2012)で提唱された「環境・経済・社会の3側面統合」とミレニアム開発目標(MDGs)の流れを受けた、全ての国に普遍的に適用される2030年の世界目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



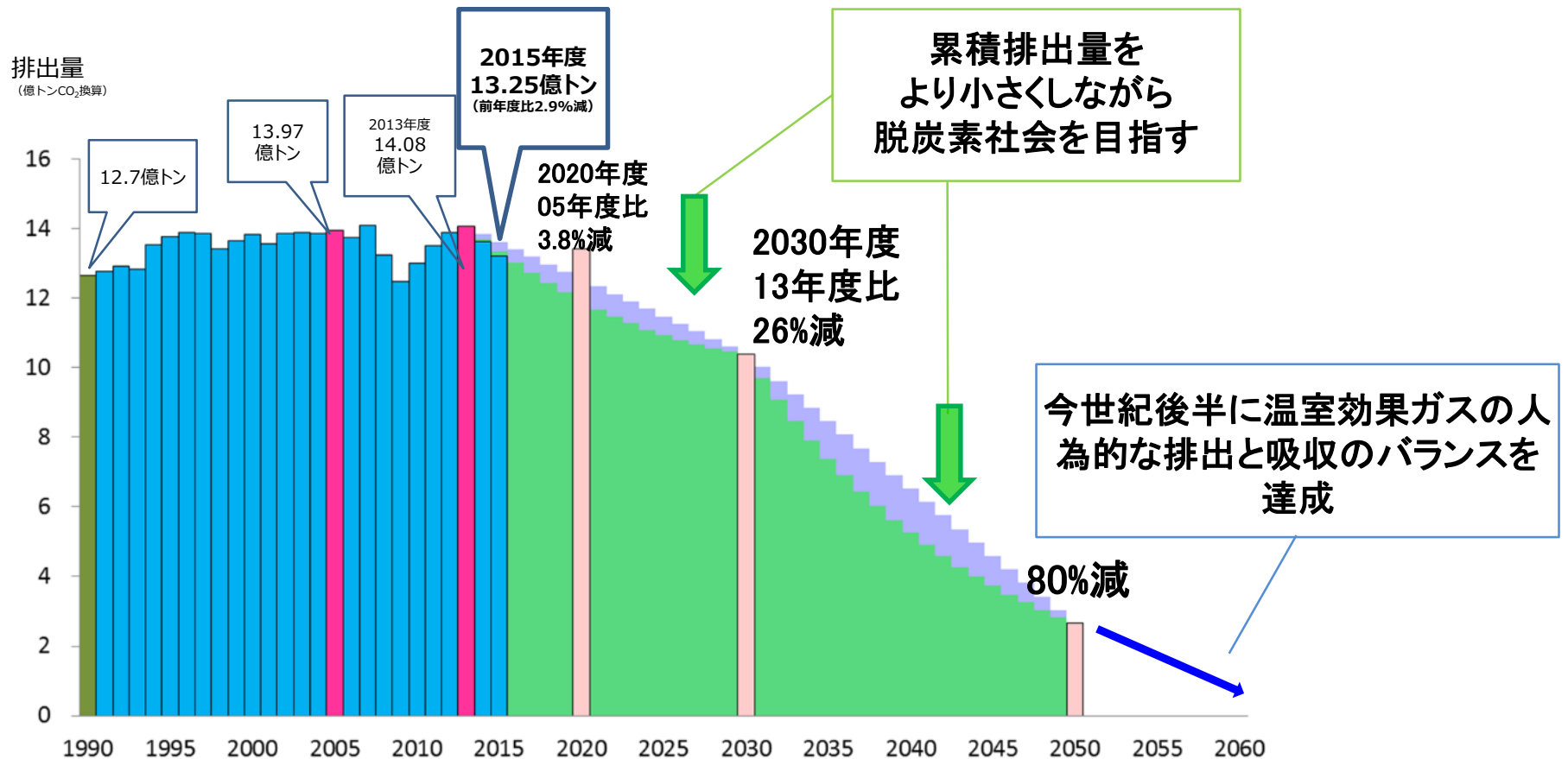
■ 環境省の取組

- SDGsに率先して取り組む先駆的な企業等の事例を共有する場として、**ステークホルダーズ・ミーティング**を開催。
- 環境基本計画の見直しにSDGsの理念や考え方を活用するための検討に着手。

日本が直面する課題

- かつてない人口減少・少子高齢化に突入。都市への人口集中、地方の衰退が顕在化し、経済成長や労働生産性は低迷
- 温室効果ガスの排出は近年減少傾向にあるが、中長期目標に向けて更なる大幅削減が必要

■ 温室効果ガスの排出 2030年26%、2050年80%削減の目標



環境政策の方向性

- 環境問題を解決すると同時に経済・社会の課題も解決する「政策デザイン」の提示
- 持続可能な開発目標(SDGs)の17ゴールは相互に密接不可分。「環境政策」を経済・社会の課題解決に資するようにデザインすることで、先駆的にSDGsの達成に寄与

■ グリーン成長の実現

環境政策により「資源生産性の向上」「地域ブランドの創造」「働き方改革」に寄与するイノベーションを誘発

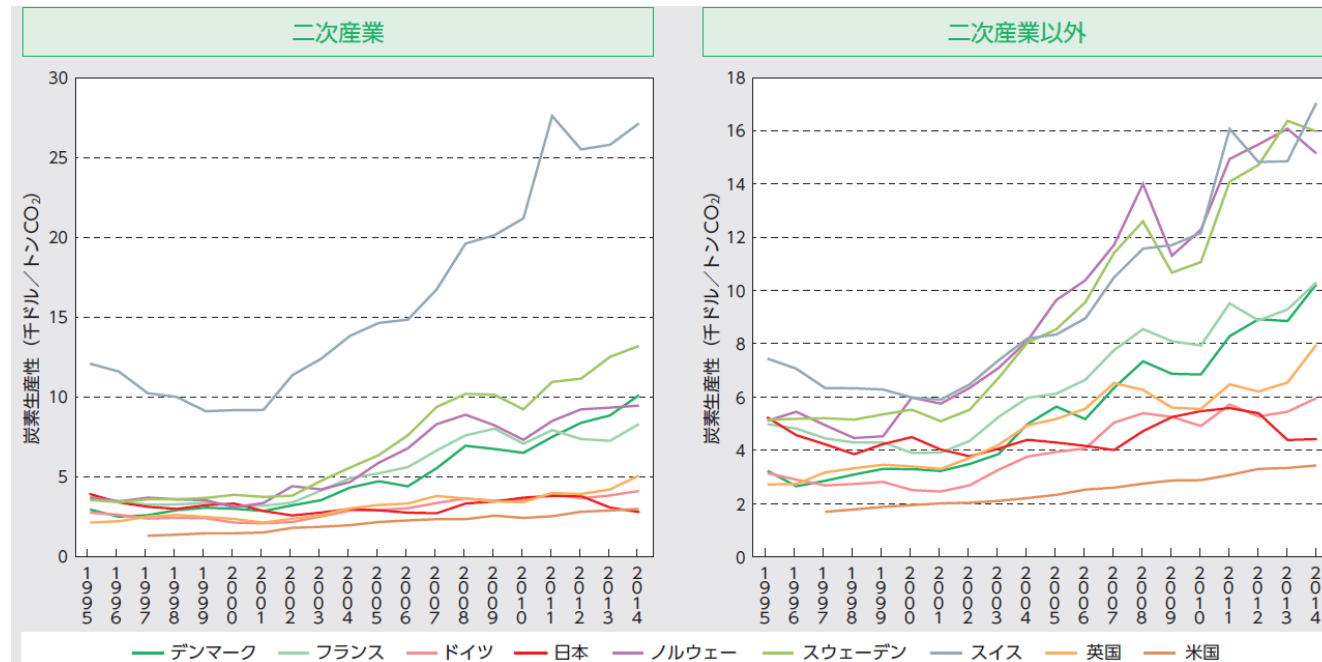
<炭素制約>

2°C目標に向けた
CO2排出の長期大幅削減

炭素生産性の向上

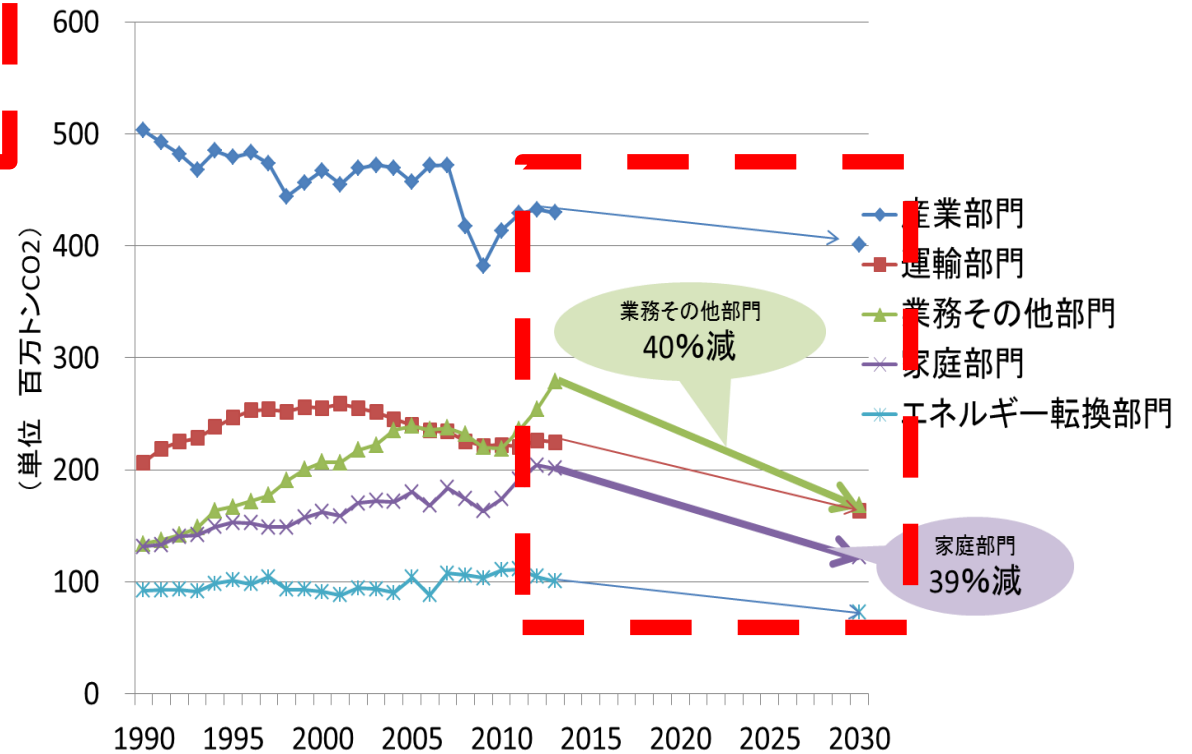
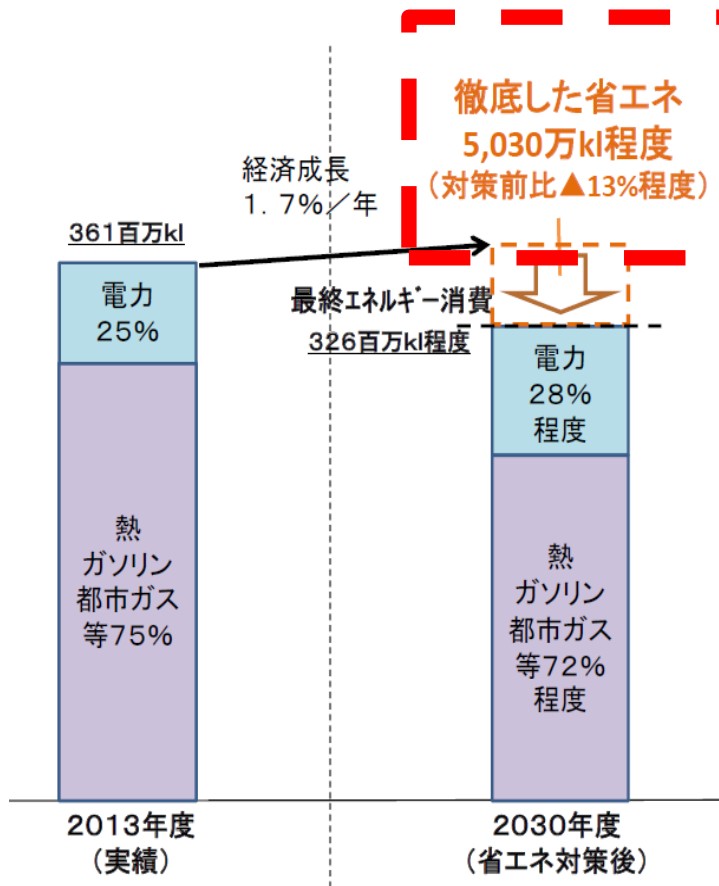
より少ないCO2排出で、
より価値の高いモノ・
サービスを生み出す。

炭素生産性の推移



CO2排出削減の取組

0.5億kl、40%の削減

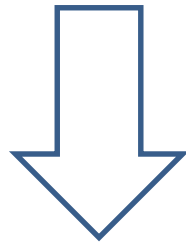


出典:「長期エネルギー需給見通し関連資料」
平成27年7月、資源エネルギー庁、65ページ

出典: 温対本部公表資料、平成27年7月

エコアクション21の位置づけ

業務その他部門(商業・サービス・事業所等)、バリューチェーン上での環境経営への期待



ISO14001や中堅・中小企業向けエコアクション21などP DCAサイクルを備えた環境マネジメントシステムの普及を進め、環境経営の実効性を高めていくとともに、企業における従業員の教育を促すことで、事業活動における更なる環境配慮の促進を図る。

(地球温暖化対策計画 平成28年5月閣議決定)

新・エコアクション2.1

✓ 経営との融合

代表者による、経営における課題とチャンスの明確化
企業価値向上に資するスパイラル・アップ型の取組を促進

✓ 経営にも効く取組（見える化も支援）

中央事務局によるCO2排出量の集計、分析、フィードバック

✓ バリューチェーン志向

バリューチェーンガイドラインの策定、関係企業グリーン化プログラム

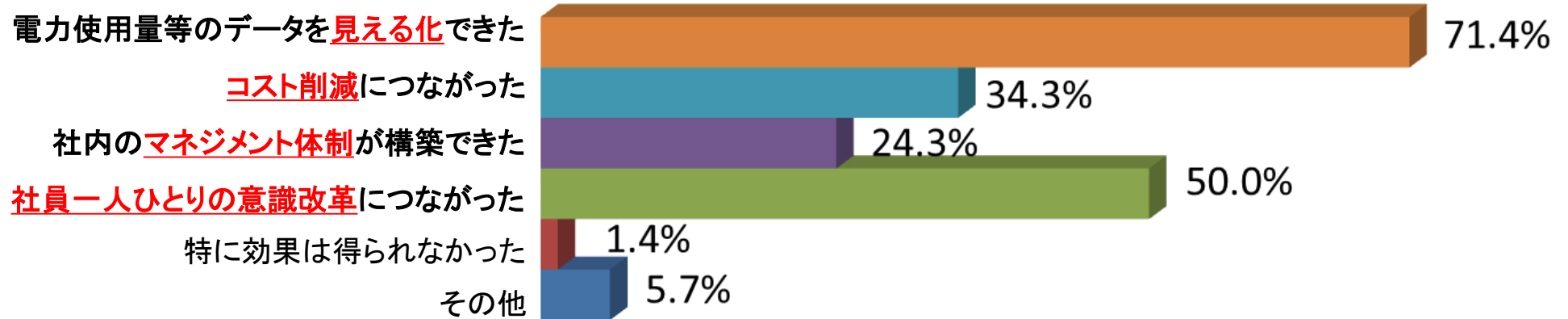
✓ 審査員による助言

パブリックコメントへのご意見

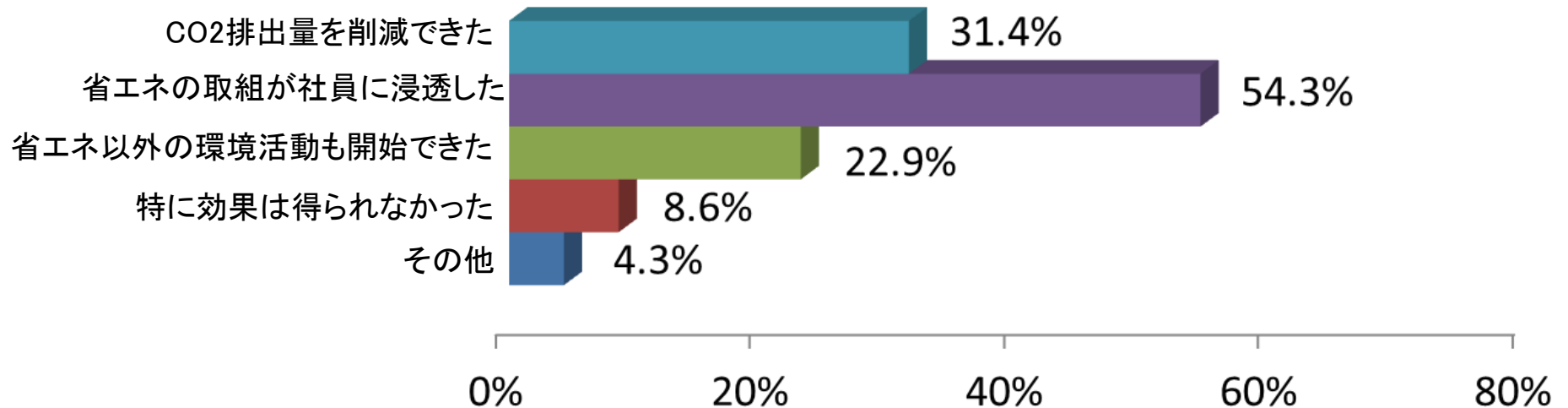
- ✓ 審査員は事業者に対して必ず経営的視点からのアドバイスをすべき

Eco-CRIP事業での期待

経営メリット



環境メリット



平成26年度参加事業者へのアンケート回答(複数回答)

新エコアクション2.1での期待

環境配慮経営

+ 企業価値向上

= 持続可能な社会の形成の後押し

審査人、地域事務局、中央事務局の
皆さまの引き続きのご協力をお願い
いたします。



ご清聴ありがとうございました。

審査人、地域事務局、中央事務局の皆さま、
関係者の皆さまのますますのご健勝を
お祈り申し上げます。